

プログラム 第2日目 9月23日(日)

第1会場 3F 一ツ橋ホール

9:10~9:50 プレナリーレクチャー2

「厚生労働省特別講演」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

演者：大島 一博（厚生労働省老健局長）

10:00~10:50 特別講演2

「DIAN研究：遺伝性若年性認知症への先制医療」

座長：荒井 啓行（東北大学加齢医学研究所 脳科学研究部門 老年医学分野）

演者：森 啓（大阪市立大学医学部/医療法人崇徳会 田宮病院）

10:50~12:20 共催シンポジウム2

「生活習慣病と認知症」

座長：塚本 和久（帝京大学医学部 内科学講座）

SS2-1 百寿者から学ぶ認知症予防

新井 康通（慶應義塾大学医学部 百寿総合研究センター）

SS2-2 糖尿病合併症としての認知症

羽生 春夫（東京医科大学高齢総合医学分野（高齢診療科））

「パネルディスカッション」

塚本 和久（帝京大学医学部 内科学講座）

羽生 春夫（東京医科大学 高齢診療科）

新井 康通（慶應義塾大学医学部 百寿総合研究センター）

共催：武田薬品工業株式会社

12:30~13:30 ランチョンセミナー3

「高齢者におけるフレイルの概念と認知症」

座長：内海 久美子（砂川市立病院 認知症疾患医療センター）

演者：小川 純人（東京大学大学院医学系研究科 加齢医学）

共催：小野薬品工業株式会社

13:40~14:30 教育講演3

「メモリークリニックと認知症予防」

座長：八森 淳（つながるクリニック）

1 物忘れ外来におけるBPSDの対策と予防—診療所看護師の役割

安部 明夫（安部第一医院）

2 MCIからどう対応をつなげるか？

朝田 隆（東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター）

14:40~16:10 共催シンポジウム 3
「アミロイド β はどうしてたまるか？—アミロイド代謝とその治療的介入—」
座長：岩田 淳（東京大学医学部附属病院 神経内科）

SS3-1 アルツハイマー病に関わるのはアミロイド産生？アミロイド代謝？
—最近の報告からみえる動向—

大河内 正康（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

SS3-2 $A\beta$ オリゴマー代謝

松原 悦朗（大分大学医学部医学科 神経内科学講座）

SS3-3 Alzheimer 病免疫療法の可能性

東海林 幹夫（弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座）

SS3-4 血中 $A\beta$ 除去による脳 $A\beta$ 減少をめざして

北口 暢哉（藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科）

共催：ニプロ株式会社

16:20~17:10 教育講演 4

「認知症の人への認知的働きかけ：認知活性化療法（CST）の進め方と研究動向」

座長：辻 美帆（医療法人社団 翔洋会）

演者：山中 克夫（筑波大学人間系）

17:20~18:50 シンポジウム 4

「ソーシャルキャピタルと認知症予防」

座長：村山 洋史（東京大学高齢社会総合研究機構）

S4-1 ソーシャルキャピタルと認知症関連アウトカム

村山 洋史（東京大学高齢社会総合研究機構）

S4-2 絵本の読み聞かせ方法の習得を題材とした認知機能低下抑制プログラム

鈴木 宏幸（東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム）

S4-3 サロン活動を通じた認知症予防：武豊プロジェクト

竹田 徳則（星城大学リハビリテーション学部 作業療法学専攻）

S4-4 エビデンスに基づく認知症予防と地域のネットワーク構築

伊藤 登（元気！ながさきの会）

第2会場 8F 第一会議室

10:00~11:30 多職種連携ワークショップ 1

「認知症予防と認知症カフェを再考する」

座長：矢吹 知之（認知症介護研究・研修仙台センター/東北福祉大学）

高橋 正彦（たかはしメモリークリニック）

IPW1-1 日本の認知症カフェの現状と継続の課題

矢吹 知之（認知症介護研究・研修仙台センター/東北福祉大学）

- IPW1-2 認知症にやさしい地域づくりのための認知症カフェの実践
～千代田区連雀はあとカフェの取組み～
松下 より子（認知症の人と家族の会東京都支部）
- IPW1-3 認知症疾患医療センターが運営する認知症カフェの現状と課題
成瀬 聡（総合リハビリテーションセンター・みどり病院）
- IPW1-4 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して
～6歳の最年少スタッフが活躍する認知症カフェ～
岩瀬 はるみ（市民活動団体 ZUTTO-KOKO オレンジカフェ KIMAMA）

- 11:30～12:20 教育講演 2
「認知症と自動車運転—認知症予防と早期発見、医学的対応の観点から」
座長：赤津 裕康（名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療教育学）
演者：上村 直人（高知大学 精神科）

- 12:30～13:30 ランチョンセミナー 4
「久山町研究から考える血糖変動と認知症の関係」
座長：三村 将（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）
演者：小原 知之（九州大学大学院医学研究院 精神病態医学）
共催：旭化成ファーマ株式会社

- 13:40～15:10 多職種連携ワークショップ 2
「多職種による初期集中支援活動」
座長：内海 久美子（砂川市立病院 認知症疾患医療センター）
當山 房子（(有)福祉ネットワーク・やえやま）

- IPW2-1 認知症の方の初期支援～人生の旅路を支えるためにできること～
平原 佐斗司（梶原診療所）

- IPW2-2 「つながりにくさ」の背景を考える：本人、家族・近隣、専門職との間で起きていること
川西 智也（鳴門教育大学大学院学校教育研究科）

- IPW2-3 作業療法士からみた認知症の初期集中支援
山口 智晴（群馬医療福祉大学・前橋市認知症初期集中支援チーム）

- IPW2-4 認知症初期集中支援チーム活動における課題
内海 久美子（砂川市立病院 認知症疾患医療センター）

- IPW2-5 訪問看護師による認知症初期集中支援事業
片山 智栄（桜新町アーバンクリニック・ナースケア・ステーション）

- 15:10～15:30 Hot Topics 1
「IoT・AIで支える自立生活」
座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）
演者：小林 素子（日本電気株式会社 医療ソリューション事業部 第四ソリューショングループ）

- 15:30~15:50 Hot Topics 2
「科学的ケアに基づく遠隔音楽療法のご紹介」
座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線学科）
演者：小杉 尚子（東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科）
- 15:50~16:10 Hot Topics 3
「アルツハイマー病の脳内アミロイド病変を捉える高精度血液バイオマーカーの開発」
座長：谷口 美也子（鳥取大学医学部生体制御学）
演者：中村 昭範（国立長寿医療研究センター 脳機能画像診断開発部）
- 16:10~16:30 Hot Topics 4
「アルツハイマー病および変性性認知症の血液バイオマーカー」
座長：谷口 美也子（鳥取大学医学部生体制御学）
演者：徳田 隆彦（京都府立医科大学分子脳病態解析学）

第3会場 8F 第二会議室

- 10:00~11:00 口演9 「診断」
座長：山下 徹（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経内科学）
評価委員：小西 吉裕（独立行政法人国立病院機構 鳥取医療センター 臨床研究部）
- 09-1 アルツハイマー型と非アルツハイマー型認知症の白質病変について
～自験例の検討～
後藤 誠一¹⁾、内山 大治²⁾、鞆田 義士²⁾、山本 晃義²⁾、阪本 剛³⁾
1)医療法人 藤誠会 後藤クリニック、2)社会医療法人 共愛会 戸畑共立病院 放射線科 画像診断センター、
3)(株) PixSpace
- 09-2 高齢者における言語流暢性課題・二重課題・指タップ課題時の脳血液量について
高橋 真悟¹⁾、田中 繁弥²⁾、富田 洋介²⁾
1)高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科、2)高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科
- 09-3 頸動脈プラークスコアと脳脊髄液中のアミロイド β 42 や認知機能との関連性
勝部 史也、河月 稔、三嶋 寿佳、小橋 悠輝、三ツ星 紀子、高村 歩美、浦上 克哉
鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座
- 09-4 血中 A β 除去による Alzheimer 病治療・予防をめざして；
血液透析患者の脳実質と血管の A β 沈着
酒井 一由¹⁾、飯塚 拓実¹⁾、榎本 純子¹⁾、野澤 聖幸¹⁾、山中 雄大¹⁾、秦 龍二²⁾、安倍 雅人³⁾、
千田 隆夫⁴⁾、吉田 眞理⁵⁾、村山 繁雄⁶⁾、北口 暢哉¹⁾
1)藤田医科大学（藤田保健衛生大学）医療科学部 臨床工学科、2)藤田医科大学（藤田保健衛生大学）医学部 解剖学、
3)藤田医科大学（藤田保健衛生大学）医療科学部 臨床検査学科、
4)岐阜大学大学院 医学系研究科 病態制御学講座 解剖学分野、5)愛知医科大学 加齢医学研究所、
6)東京都健康長寿医療センター
- 09-5 血中 A β 除去によるアルツハイマー病の治療方法の検討
～ドネペジル投与による血液、髄液中の A β 濃度変化～
川口 和紀¹⁾、近藤 大貴¹⁾、谷中 蒼¹⁾、堀 広貴¹⁾、鈴木 裕也¹⁾、横田 佳歩¹⁾、森 万佑子¹⁾、
坂田 美和¹⁾、釘田 雅則²⁾、長尾 静子²⁾、北口 暢哉¹⁾
1)藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科、2)藤田保健衛生大学 疾患モデル教育研究施設
- 09-6 アルツハイマー型認知症の診断における脳脊髄液中アミロイド β 42 の測定意義
小橋 悠輝、河月 稔、三嶋 寿佳、勝部 史也、三ツ星 紀子、高村 歩美、浦上 克哉
鳥取大学医学部 保健学科 生体制御学講座

11:00~12:00

口演 11 「画像と神経疾患」

座 長：北村 伸 (医療法人社団 成仁会 長田病院)

評価委員：作本 修一 (さくもとクリニック)

O11-1 筋萎縮性側索硬化症における前頭葉機能低下の特徴

太田 康之、山下 徹、菱川 望、佐藤 恒太、武本 麻美、幡中 典子、高橋 義秋、
中野 由美子、森原 隆太、阿部 康二
岡山大学大学院 脳神経内科学

O11-2 脳卒中後の直接認知症発症 (direct converter) と認知症予防

阿部 康二、中野 由美子
岡山大学脳神経内科

O11-3 脳梗塞後の認知症予防

荒木 由加利
NPO法人認知症予防ネット

O11-4 背景病理として進行性核上性麻痺が示唆された正常圧水頭症の 71 歳男性例

浅原 有揮、余郷 麻希子、鈴木 正彦
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター神経内科

O11-5 MRI 位相画像情報を用いた定量的認知症評価法の基礎検討

犬童 大貴¹⁾、米田 哲也²⁾、館脇 康子^{3,4)}、呉花 楠⁵⁾、武藤 達士^{3,4)}、石木 愛子^{4,6)}、富田 尚希^{4,6)}、
荒井 啓行^{4,6)}、瀧 靖之^{3,7)}

1)熊本大学大学院保健学教育部、2)熊本大学大学院生命科学研究部 医療技術科学講座、
3)東北大学加齢医学研究所 機能画像医学研究分野、4)東北大学病院 加齢・老年病科、5)熊本大学大学院医学教育部、
6)東北大学加齢医学研究所 老年医学分野、7)東北大学加齢医学研究所 スマートエイジング学際重点研究センター

O11-6 臨床評価と 관련된新しい MRI 位相画像情報の探索

米田 哲也¹⁾、犬童 大貴²⁾、館脇 康子^{2,3)}、呉花 楠⁵⁾、武藤 達士^{3,4)}、石木 愛子^{4,6)}、富田 尚希^{4,6)}、
荒井 啓行^{4,6)}、瀧 靖之^{3,7)}

1)熊本大学大学院生命科学研究部 医療技術科学講座、2)熊本大学大学院保健学教育部、
3)東北大学加齢医学研究所 機能画像医学研究分野、4)東北大学病院 加齢・老年病科、5)熊本大学大学院医学教育部、
6)東北大学加齢医学研究所 老年医学分野、7)東北大学加齢医学研究所 スマートエイジング学際重点研究センター

13:40~14:40

口演 13 「非薬物療法 1」

座 長：川瀬 敦士 (医療法人社団 川瀬神経内科クリニック)

評価委員：大井 博司 (広島国際大学総合リハビリテーション学部)

O13-1 ガーデニングと活動日誌をとり入れた認知症予防プログラムにおける ファイブ・コグ得点の向上

豊田 正博、横田 優子
兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科

O13-2 認知症予防の能動的・受動的介護園芸療法の回想法と未来予想への活用

小浦 誠吾¹⁾、西川 千恵子²⁾、長尾 和穂²⁾、池田 明子³⁾、仙波 梨沙¹⁾
1)西九州大学生生活支援研究科、2)社会福祉法人莞爾会、3)ソフィアフィットセラピー協会

O13-3 軽症アルツハイマー型認知症の人の自発定社会参加における包括支援 ～認知症予防ゲームのリーダー活動から見た事例～

中村 都子、佐々木 典子
NPO法人 認知症予防ネット

O13-4 認知症予防プログラム「ものトレ」3年間利用者の解析による効果の検証

谷口 美也子
鳥取大学医学部付属病院ワークライフバランス支援センター

O13-5 認知症高齢者へのジグソーパズルを用いた脳活動の有効性

磯 忍¹⁾、児玉 直樹²⁾、高橋 真悟³⁾、増田 稔⁴⁾、庄司 俊彦⁵⁾、高橋 芳雄⁵⁾、川瀬 康裕⁵⁾
1)芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター、2)新潟医療福祉大学、3)高崎健康福祉大学、
4)株式会社エポック社、5)川瀬神経内科クリニック

013-6 脳活性化リハビリテーションの5原則に基づいたゲーム実施による認知症の発症・進行予防効果の検討

山上 徹也¹⁾、河村 吉章²⁾、野村 薫²⁾、佐藤 亜希子²⁾、商 真美²⁾、白井 真一²⁾、高橋 正勝³⁾
1)群馬大学大学院保健学研究科、2)(株) かいかや、3)(株) サイ

14:40~15:30 口演 16 「非薬物療法 2」

座 長：涌谷 陽介（社会医療法人全人会 倉敷平成病院
脳神経内科・認知症疾患医療センター）
評価委員：高橋 智子（横手市 健康福祉部 地域包括支援センター）

016-1 BPSD 不安緩和を試みた個別音楽療法の一事例

近藤 瑛佑¹⁾、竹下 悠哉²⁾
1)医療法人中村会 介護老人保健施設あさひな、2)北海道大学大学院保健科学院

016-2 認知症者に寄り添うケア技法の開発と形式知化～臨床美術士の立場から～

内田 栄子¹⁾、管谷 由紀子¹⁾、及部 智子¹⁾、辻 正純²⁾、山口 郁博³⁾
1)医療法人社団 翔洋会脳リハビリデイサービス大泉学園はなみずき、2)辻内科循環器科歯科クリニック、
3)東京大学教育学研究科

016-3 骨脆弱性患者におけるリハビリテーションが脳機能に与える効果の検討

三ツ星 紀子¹⁾、河月 稔¹⁾、持田 茂²⁾、森本 兼人²⁾、浦上 克哉¹⁾
1)鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座、2)医療法人友絃会皆生温泉病院

016-4 認知症予防非薬物療法基礎理論の試みー作業療法士たちの大活躍を目指してー

岩崎 雅彦
マイルドハート坂出

016-5 行動心理症状へのデジタル機器開発ーAIによるパーソナライズマルチセンス刺激

Nick Hird¹⁾、加藤 潤一¹⁾、Amit Thakur¹⁾、小野寺 毅²⁾、鈴木 拓海²⁾、牧野 正明²⁾、Samik Ghosh³⁾、
Janmenjoy Roy³⁾、Soumyadipta De³⁾、前田 潔⁴⁾、西野 憲史⁵⁾
1)Aikomi、2)JVCKENWOOD、3)SBX Corp、4)神戸学院大学、5)西野病院

15:30~16:30 口演 18 「非薬物療法 3」

座 長：川瀬 弓子（医療法人社団 川瀬神経内科クリニック）
評価委員：小徳 美千子（社会福祉法人真誠会 小規模多機能「浜の絆」）

018-1 「第1回ダンス療法フェスティバル」参加者アンケートより：
ダンス活動と日常生活活動・身体機能・認知機能との関係性について

安倍 あき子¹⁾、利根川 久女紅²⁾、五月女 美幸²⁾、堀 慎二³⁾、平山 久美⁴⁾、阿部 康二⁵⁾
1)東京工科大学医療保健学部作業療法学科、2)利根川Kスタジオ、3)エアロビクスインストラクター、鍼灸師、
4)医療法人杏和会阪南病院、5)岡山大学脳神経内科

018-2 「第1回ダンス療法フェスティバル」におけるダンス内容に関するアンケート調査

五月女 美幸¹⁾、利根川 久女紅¹⁾、安倍 あき子²⁾、堀 慎二³⁾、平山 久美⁴⁾、阿部 康二⁵⁾
1)利根川Kスタジオ、2)東京工科大学、3)エアロビクスインストラクター、鍼灸師、4)医療法人杏和会阪南病院、
5)岡山大学脳神経内科

018-3 「ダンス療法」の実践と認知症予防

利根川 久女紅¹⁾、安倍 あき子²⁾、五月女 美幸¹⁾、堀 慎二³⁾、平山 久美⁴⁾、阿部 康二⁵⁾
1)利根川Kスタジオ、2)東京工科大学、3)エアロビクスインストラクター、鍼灸師、4)医療法人杏和会阪南病院、
5)岡山大学脳神経内科

018-4 和音が喚起する情動と認知機能との関係

池岡 清光¹⁾、小西 未来¹⁾、西山 満理¹⁾、岩井 章行¹⁾、田中 章恵¹⁾、平川 奈津子¹⁾、伊藤 聖也¹⁾、
菊川 健一¹⁾、森藤 ちひろ²⁾、岩波 久威³⁾
1)医療法人池岡診療所、2)流通科学大学人間社会学部、3)獨協医科大学病院神経内科

018-5 初心者が容易に合奏できる認知症予防のための電子楽器サイミスの開発

赤澤 堅造¹⁾、一ノ瀬 智子²⁾、松本 佳久子²⁾、竹原 直美²⁾、益子 務¹⁾、西ノ平 志子³⁾、
中山 功一³⁾、奥野 竜平⁴⁾
1)社会福祉法人希望の家先端応用音楽研究所、2)武庫川女子大学音楽学部、3)佐賀大学大学院工学研究科、
4)摂南大学理工学部

O18-6 集団音楽療法における「認知的働きかけ」の導入

尾方 睦望¹⁾、辻 正純²⁾、管谷 由紀子^{1,2)}、山口 郁博³⁾

1)医療法人翔洋会 脳リハビリテーションサービス大泉学園はなみずき、2)医療法人翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック、3)東京大学大学院教育研究科

16:30~17:30 口演 20 「栄養」

座 長：豊田 正博（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）

評価委員：小田 史郎（北翔大学 生涯スポーツ学部）

O20-1 カマンベールチーズを用いた血中脳由来神経栄養因子（BDNF）の変動に関するランダム化研究

鈴木 隆雄¹⁾、徳井 友香²⁾、高杉 諭²⁾、川島 昭浩²⁾、山地 健人²⁾、金 憲経³⁾

1)桜美林大学 老年学総合研究所、2)株式会社 明治、3)東京都健康長寿医療センター 研究所

O20-2 認知機能評価のための食行動尺度作成の試み
—軽度認知障害（MCI）の可能性のある者の食行動の特徴—山下 英美^{1,2)}、齊藤 千晶¹⁾、黒野 隼¹⁾、小長谷 陽子¹⁾

1)認知症介護研究・研修大府センター、2)愛知医療学院短期大学

O20-3 認知症予防の啓発と予防効果のある食材を用いた弁当の開発

入谷 敦、中島 久美絵、奥野 太寿生、山中 麻未、濱 大輔、森本 茂人

金沢医科大学病院 認知症センター

O20-4 表情の数値化による認知症症状の評価
～中鎖脂肪酸摂取による表情の変化について～佐々木 明子¹⁾、江藤 節子²⁾、加藤 一彦³⁾、末満 ひろみ³⁾、杉山 妙¹⁾、増田 洸司¹⁾、村野 賢博¹⁾

1)日清オイリオグループ株式会社 中央研究所、2)株式会社アイ・ディ・エス グループホームバナナ園横浜山手、

3)医療法人社団彦仁会 かとうクリニック

O20-5 アルツハイマー型認知症の嗅覚機能および味覚機能の比較

河月 稔、三嶋 寿佳、勝部 史也、小橋 悠輝、三ツ星 紀子、高村 歩美、浦上 克哉

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座

O20-6 腸内環境改善によるパーキンソン病における神経変性の予防および治療

澤田 浩秀^{1,3)}、柳本 有二²⁾、六車 香織^{3,4)}、高野 聡美^{3,5)}、小木曾 昇³⁾

1)神戸常盤大学保健科学部医療検査学科、2)神戸常盤大学保健科学部看護学科、

3)国立長寿医療研究センター実験動物管理室、4)中部大学応用生物学部、5)ジャパンティッシュエンジニアリング（株）

第4会場 7F 中会議室

10:00~11:00 口演 10 「認知機能評価」

座 長：田北 昌史（田北メモリーメンタルクリニック）

評価委員：佐野 英孝（医療法人敬成会 白根緑ヶ丘病院）

O10-1 手指巧緻性動作を活用した新たな認知機能評価・訓練機器の開発：
早期予防を目指した基礎的研究大藏 倫博¹⁾、阿部 巧²⁾、井上 大樹³⁾、高木 朝加⁴⁾

1)筑波大学体育系・高細精医療イノベーション研究コア、

2)東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム、3)筑波大学人間総合科学研究科・体育学専攻、

4)筑波大学体育専門学群

O10-2 笑顔で認知症を支える家族・地域づくりを目指して～表情スケールの活用～

三島 美奈子

社会福祉法人こうほうえん なんぶ幸福苑 認知症対応型サービスセンターいしい

O10-3 北海道の地方自治体における認知機能の傾向と生活習慣との関連について
—S町とH町で実施した悉皆調査の結果から—小田 史郎¹⁾、上田 知行¹⁾、相内 俊一²⁾

1)北翔大学 生涯スポーツ学部、2)特定非営利活動法人 ソーシャルビジネス推進センター

O10-4 共分散構造分析を用いた認知機能関連因子の因果関係の検討

相馬 優樹^{1,2)}、小笠原 悠^{3,4)}、中路 重之^{2,4)}

1)岩手県立大学 盛岡短期大学部、2)弘前大学大学院 医学研究科 社会医学講座、3)首都大学東京 都市環境学部、4)弘前大学大学院 医学研究科 先制栄養医学講座

O10-5 MCIの進行における性差と教育程度の関与

岩田 淳

東京大学医学部附属病院 神経内科

O10-6 時計描画課題および立方体透視図模写課題の電子化による認知症の鑑別診断

児玉 直樹¹⁾、佐藤 厚²⁾、川瀬 康裕³⁾、掛 晃幸⁴⁾、田中 克明⁵⁾

1)新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線学科、2)新潟リハビリテーション大学、3)川瀬神経内科クリニック、4)株式会社ワコム、5)コクヨ株式会社

11:00~12:00 口演 12 「人材育成と評価スケール」

座長：狩野 賢二（島根大学医学部附属病院クリニカルスキルアップセンター）

評価委員：後藤 誠一（医療法人藤誠会 後藤クリニック）

O12-1 現場の課題分析ツール「事業所介護負担度評価スケール」

～どこに、何を、どれだけ、注ぐか～

竹林 慶史

医療法人 好縁会 教育研修部

O12-2 HLC（ハッピー・ライフ・クリエイター）制度

認知症専門介護職が支える「その人らしい生活」

石橋 紘一

医療法人好縁会グループ

O12-3 認知症に係るボランティア育成に必要な教育的支援方法の探索
—試行的ボランティア育成プログラムのトライアル結果より—

清家 理、竹内 さやか、大久保 直樹、藤崎 あかり、森山 智晴、梶野 陽子、猪口 里永子、水野 伸枝、佐治 直樹、鳥羽 研二、櫻井 孝

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターもの忘れセンター

O12-4 認知症予防のための自助・互助醸成プログラムの介入効果と持続検証

—Dementia Friendly community リーダー育成プログラムの開発をめざして—

清家 理¹⁾、松本 智典³⁾、鈴木 大河¹⁾、幣 憲一郎⁴⁾、青山 朋樹⁵⁾、小山 秀司⁶⁾、Carl Becker⁷⁾、広井 良典¹⁾、荒井 秀典⁸⁾

1)京都大学こころの未来研究センター、2)国立長寿医療研究センターもの忘れセンター、

3)京都大学大学院人間・環境学研究科、4)京都大学医学部附属病院病態栄養管理部、

5)京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻、6)秀司法書士事務所、7)京都大学学際融合教育研究推進センター、

8)国立長寿医療研究センター

O12-5 認知症予防に関わる臨床検査技師としての役割と組織としての関わり方

高村 好実¹⁾、原 正樹²⁾

1)市立宇和島病院 臨床検査科、2)独立行政法人地域医療機能推進機構宇和島病院 臨床検査科診療部

O12-6 認知症検査領域で臨床検査技師に今求められること

大野 節子、池田 智美、竹部 早央里、藤原 祐樹

社会医療法人昌林会 安来第一病院

12:30~13:30 ランチョンセミナー 5

「これからの認知症医療に期待されるツール～MSP、TDAS と NAT の有用性～」

座長：鶴飼 克行（社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院 老年精神科）

演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座）

共催：日本光電工業株式会社

13:40~14:30

口演 14 「運動プログラム」

座長：島田 裕之（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター 予防老年学研究部）

評価委員：三森 康世（広島国際大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科）

O14-1 月 1 回の低頻度な介護予防教室における自助中心の運動および認知機能改善プログラムの有効性の検討

原田 悠平¹⁾、三浦 隆¹⁾、野坂 俊弥²⁾、中村 豊³⁾

1) アルケア株式会社、2) 東海大学体育学部、3) 済生会湘南平塚病院

O14-2 地域在住高齢者の認知機能に対する複合課題プログラム効果の検証

小野 玲¹⁾、古和 久朋¹⁾、村田 峻輔^{1,2)}、安田 尚史¹⁾、種村 留美¹⁾、木戸 良明¹⁾

1) 神戸大学大学院 保健学研究科、2) 日本学術振興会 特別研究員

O14-3 高齢者を支援するセルフマッサージプログラム提案の経過報告

富田 知子¹⁾、木村 康一¹⁾、生山 匡¹⁾、及川 麻衣子¹⁾、難波 礼治²⁾、鈴木 忠慶³⁾、田嶋 順子¹⁾、谷口 美也子⁴⁾

1) 山野美容芸術短期大学、2) 第一工業大学、3) アルファ医療福祉専門学校、4) 鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

O14-4 モトタイルによるデュアルタスク課題実施時の脳血液量変化

児玉 直樹¹⁾、瀬戸口 祐剛²⁾、吉田 慎治³⁾、長谷川 清³⁾、川瀬 康裕⁴⁾

1) 新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線学科、2) セノー株式会社、3) 株式会社NeU、4) 川瀬神経内科クリニック

O14-5 認知症疾患医療センターと地域介護予防施設の共催による運動と認知課題の同時介入が地域在住者に及ぼす効果

國枝 洋太^{1,2)}、荒川 千晶¹⁾、仁王 進太郎¹⁾、齋藤 加寿子³⁾、齋藤 弥生⁴⁾、志田 伸之⁵⁾、

川端 奈緒¹⁾、浅水 香理¹⁾、多田 光宏¹⁾、高橋 希衣¹⁾、足立 智英¹⁾、山田 拓実²⁾、星野 晴彦¹⁾

1) 東京都済生会中央病院 認知症疾患医療センター、2) 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科、3) 港区立高輪いきいきプラザ、4) 港区立白金いきいきプラザ、5) 港区立豊岡いきいきプラザ

14:30~15:20

口演 15 「地域包括ケア」

座長：黒沢 洋一（鳥取大学医学部医学科健康政策医学分野）

評価委員：原田 和佳（医療法人和栄会 原田医院）

O15-1 医療機関による認知症に優しいまちづくりへの挑戦

～認知症カフェから繋がる地域連携～

小川 咲子¹⁾、寺井 アレックス大道¹⁾、中山 寛人^{1,2)}、水木 寛¹⁾

1) 医療法人水の木会 下関病院、2) 医療法人ふらて会 西野病院

O15-2 急性期病院における BPSD 予防作戦（第 3 報）

～院内認知症対応マニュアル作成に向けて～

日和田 正俊、井手 芳彦、桑原 友紀子

社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院

O15-3 地域在住高齢者の認知症予防行動に対する意識と実態

牧野 多恵子^{1,2)}、梅垣 宏行³⁾、北田 友治²⁾、井上 愛子²⁾、林 尊弘¹⁾、葛谷 雅文^{2,3)}

1) 星城大学リハビリテーション学部、2) 名古屋大学未来社会創造機構、3) 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学

O15-4 多職種で取り組む地域住民の認知症予防～国富町とけいめい記念病院の連携～

日吉 真理子、岡原 一徳、福谷 靖博

医療法人慶明会けいめい記念病院、健康支援センター

O15-5 地域包括ケアシステム構築・認知症予防に向けて作業療法士としての役割～行政・地域・他職種連携の重要性～

岡藤 農

王司病院 リハビリテーション部

15:20~16:20 口演 17 「家族支援」

座長：滝口 美重（聖路加国際病院）

評価委員：管谷 由紀子（医療法人社団翔洋会）

脳リハビリデイサービス大泉学園はなみずき）

O17-1 外来における認知症介護家族のための START プログラムの試み—プログラムの分解、必要セッションのみの実施に意味はあるか—

櫻村 正美¹⁾、川西 智也²⁾、野村 俊明^{1,3)}、辻 正純⁴⁾、管谷 由紀子⁴⁾1) 日本医科大学医療心理学教室、2) 鳴門教育大学大学院学校教育研究科、
3) 日本医科大学武蔵小杉病院街ぐるみ認知症相談センター、4) 医療法人社団翔洋会辻内科循環器科歯科クリニック

O17-2 保健所における地域在住高齢者の迷惑行為への対応—困難に関する自由記述の分析から—

川西 智也¹⁾、野村 俊明²⁾、原 祐子³⁾、櫻村 正美²⁾、北村 伸⁴⁾1) 鳴門教育大学大学院学校教育研究科、2) 日本医科大学医療心理学教室、3) 公益財団法人西熊谷病院、
4) 日本医科大学街ぐるみ認知症相談センター

O17-3 アルコール性認知症を呈した症例に対する退院支援リハビリテーションの一事例

古川 信之、大森 裕之

社団法人福岡医療団 緩和ケア併設多々良リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部 OT科

O17-4 家族教室による家族支援の影響—介護肯定感、介護負担感について—

中川 沙耶¹⁾、涌谷 陽介²⁾、村島 悠香¹⁾、中村 桃子³⁾、阿部 弘明¹⁾

1) 倉敷平成病院 リハビリテーション部、2) 倉敷平成病院 神経内科、3) 倉敷平成病院 認知症疾患医療センター

O17-5 湘南いなほクリニックにおける認知症予防に向けた教育・啓発活動

内門 大丈¹⁾、武部 貴則^{2,3,4)}、井上 祥⁵⁾1) 湘南いなほクリニック、2) 横浜市立大学先端医学科学研究センター、3) 東京医科歯科大学統合研究機構、
4) シンシナティ小児病院、5) 株式会社メディカルノート

O17-6 認知機能が低下した夫の関りに悩む妻への支援に関する一考察

—定期受診時に外来で可能な心理的支援のポイントとは—

吉武 亜紀^{1,2,4)}、久徳 弓子^{1,3)}1) 川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター、2) 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、
3) 川崎医科大学 神経内科学、4) 川崎医療福祉大学 大学院 医療福祉学研究科

16:20~17:20 口演 19 「運転と震災関連」

座長：野田 明子（中部大学大学院 生命健康科学研究科）

評価委員：菱川 望（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経内科学）

O19-1 高齢者の自動車運転免許自主返納についての意識調査

星野 将隆

船橋総合病院 脳神経内科

O19-2 運転免許外来を開設して1年での考察

久徳 弓子^{1,2)}、吉武 亜紀²⁾、西橋 佳花²⁾、赤松 祐美²⁾、金島 由佳²⁾、砂田 芳秀^{1,2)}

1) 川崎医科大学 神経内科学、2) 川崎医科大学附属病院認知症疾患医療センター

O19-3 自動運転と高齢運転者

中村 拓司

TACT

O19-4 運転免許外来受診者の自動車運転と生活への影響について

金島 由佳^{1,2)}、西橋 佳花^{1,2)}、仲島 瑛美^{1,2)}、武内 宏憲^{1,2)}、赤松 祐美^{2,3)}、吉武 亜紀^{2,3)}、久徳 弓子^{2,4)}、砂田 芳秀^{2,4)}1) 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター、
3) 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、4) 川崎医科大学 神経内科学教室

O19-5 東日本大震災被災地居住高齢者における、認知機能低下の割合とその経時的変化

植田 寿里¹⁾、石木 愛子¹⁾、沖永 壯治¹⁾、富田 尚希¹⁾、沼崎 宗夫¹⁾、古川 勝敏²⁾、荒井 啓行¹⁾

1) 東北大学病院 加齢・老年病科、2) 東北医科薬科大学病院 総合診療科

O19-6 東日本大震災被災地における認知症予防の試み

古川 勝敏、宮澤 イザベル、住友 和弘、佐々木 義輝、大原 貴裕、佐藤 滋
東北医科薬科大学医学部地域医療学

17:20~18:10 口演 21 「睡眠」

座 長：久徳 弓子（川崎医科大学 神経内科学）

評価委員：木宮 高代（福山平成大学看護学部看護学科）

O21-1 認知機能障害がある高齢者の睡眠評価に対する、うつ症状および認知機能の関連性

三嶋 寿佳、河月 稔、小橋 悠輝、勝部 史也、三ツ星 紀子、高村 歩美、浦上 克哉
鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座

O21-2 睡眠と脳機能との関係

三田 康暁¹⁾、奥田 将人¹⁾、中嶋 穂乃佳²⁾、小園 諒²⁾、野田 明子¹⁾

1) 中部大学大学院生命健康科学研究科、2) 中部大学生命健康科学部生命医科学科

O21-3 睡眠が認知機能へ及ぼす影響

奥田 将人¹⁾、野田 明子¹⁾、三田 康暁¹⁾、倉田 麻那¹⁾、本多 久美子²⁾、宮田 聖子³⁾、岩本 邦弘³⁾、
尾崎 紀夫³⁾

1) 中部大学大学院生命健康科学研究科生命医科学専攻、2) 中部大学生命健康科学部生命医科学科、
3) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

O21-4 地域住民における睡眠と認知機能の関連性

上松 右二¹⁾、服部 園美¹⁾、志波 充¹⁾、宮井 信行¹⁾、早川 博子¹⁾、丸岡 朋子¹⁾、内海 みよ子¹⁾、
有田 幹雄¹⁾、牟礼 佳苗²⁾、竹下 達也²⁾

1) 和歌山県立医科大学 保健看護学部、2) 和歌山県立医科大学 医学部 公衆衛生学

O21-5 高齢睡眠呼吸障害患者における認知機能と嗅覚機能の検討

宮田 聖子¹⁾、大竹 宏直^{2,3)}、野田 明子⁴⁾

1) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、2) 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座、
3) 大竹耳鼻咽喉科・睡眠クリニック、4) 中部大学大学院生命健康科学研究科生命医科学専攻

ポスター会場 8F 第三会議室

13:40~14:30 ポスター 6 「運動」

座 長：九鬼 克俊（いるか心療所）

評価委員：須藤 慎治（国立病院機構宇多野病院 神経内科）

P6-1 レジスタンストレーニングを取り入れた認知症予防教室における運動・認知機能の変化

佐藤 美紀子、福岡 美紀、塩飽 邦憲
島根大学医学部

P6-2 地域在住高齢者の両手交互指タップ運動課題と認知機能の関係

田中 繁弥¹⁾、高橋 真悟²⁾、富田 洋介¹⁾

1) 高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科、2) 高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科

P6-3 理学療法士による認知症高齢者の身体活動に対する誘導方法

横川 正美¹⁾、谷口 好美²⁾、米田 由美³⁾

1) 金沢大学医薬保健研究域保健学系 リハビリテーション科学領域、2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系 看護科学領域、
3) えんやま健康クリニック

P6-4 介護予防：運動器機能の評価と唾液中神経栄養因子を指標とした効果的な介入の検討

讃井 真理、新川 雅子、石川 孝則、山田 晃子、上林 聡子、岩本 由美、平岡 正史、
田村 和恵、前信 由美、平光 修、森田 克也、土肥 敏博

広島文化学園大学看護学部

P6-5 Alzheimer 病患者の転倒者と非転倒者の認知機能、バランス能力、視覚認知機能の比較

沖 真由香¹⁾、松本 深雪¹⁾、福島 光子¹⁾、吉川 友紀子¹⁾、長澤 明¹⁾、高倉 朋和¹⁾、鈴木 優喜子²⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター リハビリテーション科、2) 杏林大学 保健学部作業療法学科

14:30~15:20 ポスター7 「非薬物療法1」

座長：岡原 一徳（医療法人慶明会 けいめい記念病院）
 評価委員：福田 敏秀（社会福祉法人こうほうえん）

P7-1 軽度認知障害（MCI）に対する認知機能改善療法（CRT）の有効性の検討

松寿 由莉¹⁾、宮島 真貴²⁾、大宮 秀淑³⁾

1)札幌学院大学大学院 臨床心理学研究科、2)北海道大学大学院 保健科学研究院、
 3)札幌学院大学 心理学部 臨床心理学科

P7-2 高齢者における日常の健康サインと軽度認知障害の関連
—ベースライン調査の結果より—

天野 宏紀¹⁾、増本 年男¹⁾、皆木 一磨¹⁾、大谷 眞二²⁾、浦上 克哉³⁾、黒沢 洋一¹⁾

1)鳥取大学医学部医学科健康政策医学分野、2)鳥取大学国際乾燥地研究教育機構、3)鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座

P7-3 就労中の向老期住民が認知症予防と認識して実践する行動の実態

長尾 奈美、江崎 ひろみ、入野 了士、鳥居 順子、永井 さつき、野村 美千江

愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科

P7-4 認知症予防を目指した食品由来成分の探索とその機能評価

金 英一、熊沢 益徳、ジュネジャ レカ

ロート製薬株式会社

P7-5 通所介護利用者の認知症遅延に係る活動と生活空間、社会的つながりとの関連性

小林 泰喜、永田 公子、松尾 優也、伊藤 真智子、石崎 敬子、遠藤 憲子

社会医療法人昌林会 デイサービスセンター フィットネス

15:20~16:10 ポスター8 「非薬物療法2」

座長：阪井 一雄（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科）
 評価委員：中山 寛人（医療法人水の木会 下関病院）

P8-1 認知症対応型デイサービスにおける臨床美術「うらやすアート」の行動・心理症状に
対する効果

鈴木 信男¹⁾、大塚 崇¹⁾、小幡 佳奈子²⁾、古田 晶子³⁾

1)社会福祉法人東京栄和会 うらやす和楽苑 デイルーム和楽、2)一般社団法人YM HOUSE、
 3)順天堂大学医学部精神医学講座

P8-2 「ド・ノ・ウ・ワ・ル・ツ」習慣でアルツハイマー無縁生活

村山 友宏^{1,2)}

1)健康都市経営コンサルタント、2)健康の駅推進機構

P8-3 1次予防から3次予防まで同時に役だつ「みんなの認知症予防ゲーム」

高林 実結樹

NPO法人認知症予防ネット

P8-4 認知機能低下抑制プログラムにおけるタブレットの適用可能性の検討

—囲碁を活用した介入プログラム「iGO こち」より—

飯塚 あい^{1,2)}、鈴木 宏幸¹⁾、小川 将¹⁾、杉山 美香³⁾、稲垣 宏樹³⁾、宇良 千秋³⁾、小川 まどか³⁾、
 枝広 あや子³⁾、宮前 史子³⁾、岡村 毅³⁾、栗田 主一³⁾、藤原 佳典¹⁾

1)東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム、2)慶應義塾大学衛生学公衆衛生学教室、
 3)東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム

P8-5 看護系大学生の認知症高齢者への関わり

木宮 高代

福山平成大学看護学部看護学科

16:10~16:50 ポスター 9 「初期集中支援と疾患医療センター」

座 長：古田 光（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 精神科）
評価委員：高橋 純子（岩手医科大学 神経内科）

P9-1 東海大学病院の認知症疾患医療センターの現状と課題（2017年度）

瀧澤 俊也¹⁾、今関 良子¹⁾、星 大飛²⁾、内田 敦子²⁾、川口 千佳子¹⁾、永田 栄一郎¹⁾
1) 東海大学医学部内科学系神経内科、2) 東海大学病院患者支援センター総合相談室

P9-2 宮城県岩沼市と名取市における認知症初期集中支援チームの活動

佐藤 滋⁴⁾、菊地 知憲²⁾、細谷 愛実³⁾、加藤 昌昭¹⁾、浅野 亜由美⁵⁾、高橋 美津子⁶⁾、
坂本 茂明⁶⁾、尾形 志朗⁶⁾、古川 勝敏¹⁾
1) 東北医科薬科大学医学部地域医療学、2) 社会医療法人将道会総合南東北病院医療福祉相談室、
3) 社会医療法人将道会総合南東北病院看護部、4) 社会医療法人将道会総合南東北病院神経内科、
5) 岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センター、6) 社会福祉法人みずほ特別養護老人ホームうらやす

P9-3 認知症初期集中支援チームにおける、行動変容ステージを踏まえたケアマネに対する広報活動について

浜本 史子、伴 正海、清水 美都穂、根本 恵、木名瀬 智香子、内門 大丈
医療法人社団みのり会湘南いなほクリニック

P9-4 A市介護保険認定者5年後の状況—生存者と死亡者の申請時の心身機能関連要因

國分 恵子¹⁾、大代 典子¹⁾、宮崎 弘美²⁾、森 亨³⁾
1) 特定非営利活動法人日本認知症予防研究所、2) 七尾市、3) (公) 結核予防会結核研究所

16:50~17:30 ポスター 10 「薬物療法」

座 長：岡村 信行（東北医科歯科大学医学部薬理学）
評価委員：渡嘉敷 崇（国立病院機構 沖縄病院 神経内科）

P10-1 ベンゾジアゼピン系薬剤の長期内服により認知機能低下を来した一例

大坂 美鈴
市立函館病院 脳神経外科

P10-2 ADUCANUMAB PRIME 試験中間解析結果：前駆期及び軽度アルツハイマー病患者を対象とした第1b相無作為化二重盲検プラセボ対照試験

Philipp von Rosenstiel¹⁾、Samantha Budd Haerberlein¹⁾、Sarah Gheuens²⁾、Tianle Chen³⁾、
John O’Gorman³⁾、Ping Chiao⁴⁾、Guanfang Wang⁵⁾、Christian von Hehn¹⁾、LeAnne Skordos¹⁾、
Christoph Hock⁶⁾、Roger Nitsch⁶⁾、Alfred Sandrock⁷⁾
1) Biogen, Clinical Development, Cambridge, USA、2) Biogen, Drug Safety, Cambridge, USA、
3) Biogen, Biostatistics, Cambridge, USA、4) Biogen, Clinical Research, Cambridge, USA、
5) Cytel, Biostatistics, Cambridge, USA、6) Neurimmune, Clinical Development, Schlieren-Zurich, Switzerland、
7) Biogen, Neurology Discovery and Development, Cambridge, USA

P10-3 パーキンソン病患者へのRotigotine貼付剤投与後の脳血流量SPECTの検討

武久 康¹⁾、小川 さおり²⁾、鶴川 春佳²⁾、西本 めぐみ²⁾、阿部 康二³⁾
1) 岡山赤十字病院 脳神経内科、2) 岡山赤十字病院 リハビリテーション科、
3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科学

P10-4 薬剤師はミタ！在宅現場のもの忘れと飲み忘れ～在宅訪問薬剤師の服薬支援と処方適正化、高齢者てんかんに対するケアの事例報告～

藤原 将平^{1,2)}、布施 賀子¹⁾、佐藤 岳彦^{1,2)}
1) ヘルシー薬局、2) 前橋市薬剤師会